

かしわ

特別支援学校のセンター的機能を果たすために

校長 北村 耕一

本校は在籍している幼児児童生徒の教育を行うと共に横須賀市を中心とする三浦半島地域の聴覚に課題のある子どもを支える「センター的機能」の役割も担っています。

文部科学省のHPによると特別支援学校のセンター的機能として、1. 小・中学校等の教員への支援機能、2. 特別支援教育等に関する相談・情報提供機能、3. 障害のある幼児児童生徒への指導・支援機能、4. 福祉、医療、労働などの関係機関等との連絡・調整機能、5. 小・中学校等の教員に対する研修協力機能、6. 障害のある幼児児童生徒への施設設備等の提供機能が例示されていました。

本校では乳幼児教育相談をはじめ、児童生徒の保護者からの教育相談、軽度難聴の児童生徒が在籍している小中学校の教員からの相談については日常的に受け付けています。

また、年に1回ですが夏季学校休業期間中に教員を対象にした「難聴理解研修」を開催しています。この研修会では専門的知識を有する講師をお招きして、小中学校の日常の授業指導で役立つ内容を伝えています。

同じく年に1回、三浦連合耳鼻咽喉科医会と共催で、国立特別支援教育総合研究所、横須賀市教育委員会に後援していただき「こどものためのきこえとことばの相談会」を開催しています。

今年度の「こどものためのきこえとことばの相談会」の様子については担当者の報告をお読みください。

全国の中核市唯一の市立ろう学校として、学校規模は小さいのですが、全教職員で特別支援学校のセンター的機能を果たすために努めています。



No. 18 平成31年3月1日 ろう学校のお雑様

こどものためのきこえとことばの相談会の様子

支援グループ長・支援教育コーディネーター 倉内 冬樹

1月27日（日）横須賀市立総合福祉会館でこどものためのきこえとことばの相談会が開催されました。内容は聞こえや言葉についての教育相談と講演会です。今回の講演会は「横須賀市における乳幼児難聴発見について」というタイトルで本校の校医である金子先生に講師を依頼しました。

相談会の趣旨は、「きこえとことば」に課題を持つ就学前後の子どもや保護者の相談を受け、教育並びに生活の充実のため、それぞれの問題について関係機関と連携して支援していくことを目的としています。また、本校への入学や難聴言語通級また療育相談センターにつなげるなど、医療・教育・福祉からの支援を始めるきっかけになるよう、更なる取り組みを目指しています。

この相談会は、本校を会場に1995年に国立特殊教育総合研究所（現 特別支援教育総合研究所）と三浦半島地区耳鼻科医会（現 三浦連合耳鼻咽喉科医会）の三者で共催事業として「耳の日相談会」が始まりました。その後、2006年からは会場を現在の横須賀市立総合福祉会館に移して「きこえとことばの相談会」として引継ぎ、2010年からは「こどものためのきこえとことばの相談会」として継続してきました。今年で通算24回目を迎えることができました。この相談会がきっかけとなり、本校に入学した子どももいます。

今回の相談会では相談件数は13件、当日の申し込みが1件ありました。午前、午後とも予定はスケジュールいっぱいとなりました。相談内容によって異なりますが、来談者は係の聞き取りの後、聴力測定、耳鼻科医による相談、必要に応じて補聴器相談を受け、最後に教育相談を受け

る流れとなっています。教育相談の相談を担当して下さるのは横須賀市教育委員会支援教育課の主査指導主事、国立特別支援教育総合研究所総括研究員、主任研究員、療育相談センターST(言語聴覚士)の方々です。

今回の相談会の反省をまとめ、課題を解決しながら、三浦半島地区で「ことば」や「きこえ」に課題を持つ子どもや保護者の支援の継続に努めていきたいと考えています。

幼稚部校外活動 (マリンパーク) の様子

幼稚部 吉川 知彦

1月22日(火)、幼稚部校外活動として京急油壺マリンパークに行きました。風邪やインフルエンザの影響により参加できなかった子どもたちがいたのは残念でしたが、参加した2名は元気いっぱい、朝から盛り上がっていました。

マリンパークに到着後、すぐにイルカとアシカのショーを見学しました。子どもたちは、イルカのジャンプやアシカのオケガン演奏にびっくり！拍手をしたら

「がんばれー！」と声を上げて応援していました。その後、自分の体よりはるかに



大きなサメやかに驚き、魚の大群に圧倒されました。

いろいろ見学しましたが、やはり一番の楽しみはお弁当です。芝生でシートを広げ、「いただきまーす！」と食べ始めたその時、突然「ガガ」と音がしたかと思うと、先生の「あー！」という叫び声。そうです、トビがおにぎりを狙って舞い降りてきたのです。慌てて屋内に避難しましたが、何が起きたかわからずに泣き出す子どももいて大変な騒ぎとなってしまいました。

その後はかわいいウサギの毛づくろいを見学し、お土産コーナーをダッシュで通り抜け、無事バスに乗って帰ることができました。バスや電車に乗るのも楽しい、幼稚部のわくわく校外活動でした。

こどもまつり (小学部) の様子

小学部 小佐野玲子

2月6日(水)、本校の小学部で「こどもまつり」が開催されました。

今年度小学1・2・3年生は「ごむでっぼうやさん」・小学4・5・6年生は「かわいいおばけやしき」・小学2・4・5年生は「長いレーンのボウリング場」を短い準備期間ですっかり用意することができました。それぞれのグループで話し合っアイデアを出し合い、構想を練っていました。「ごむでっぼうやさん」では、景品のコロコロと看板、ルールを作りました。「かわいいおばけやしき」では、絵合わせカードと風船をたくさん作って、とても夢がありました。「長いレーンのボウリング場」もみんなで力を合わせ、頑張っ花飾りまで作りました。



当日は、どのお店でも係の仕事が順番通りにできていました。幼稚部のお友だちやお客様が来ると、嬉しそうに対応していました。全部のお店が大繁盛。お客様が楽しんでくださっていました。その後、全員がお客さんとして他のお店を回って楽しめました。

とても元気に楽しく日々の学びの中で、活動できてよかったですね。

3月の主な行事予定(詳細は学部・学級だより参照)

3/ 1(金)PTA 役員会 9:20～、幼稚部ひなまつり。

4(月)幼稚部面談～8日。

5(火)図書委員会読み聞かせ。

6(水)HA 相談。

7(木)卒業式予行練習、自校献立。

8(金)午後：保護者面談。

12(火)小学部6年生を送る会。

15(金)卒業式。

18(月)幼稚部修了式予行練習。

19(火)通級：きこえのまとめの会。

22(金)通級：ことばのまとめの会。

25(月)修了式・離任式。

26(火)学年末休業開始。～3/31(日)